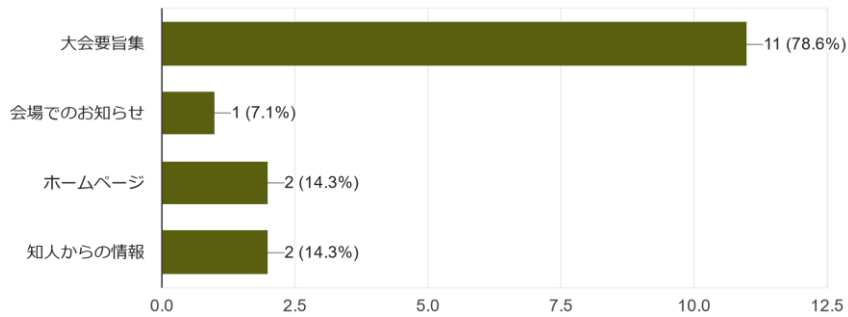


第73会日本細胞生物学会大会

男女共同参画推進・若手研究者育成委員会企画ランチタイムワークショップアンケート集計

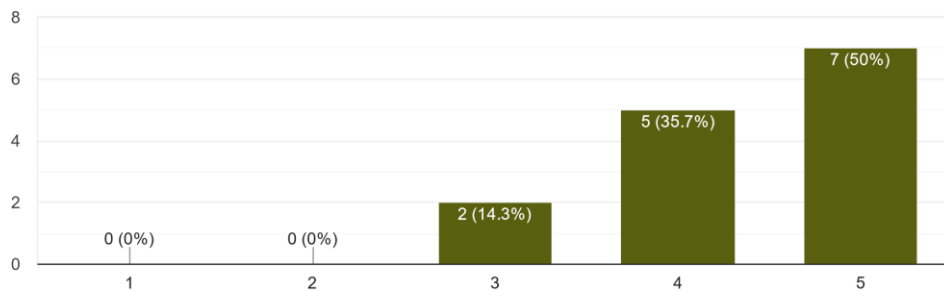
1) 今回の企画をどうやって知りましたか？

14件の回答



2) ワークショップの内容についてどう感じましたか？

14件の回答



3) (2) のように感じた理由を差し支えなければお聞かせ下さい。

- 普段あまり積極的に活用していなかったSNSやWebでの発信について、しっかり考える良いヒントになりました。
- SNS発信に興味はあるが一歩が踏み出せないでいるため。
- 現在の良い状態にたどり着くまでの、右往曲折をお話していただけたので共感できたため。
- コロナ禍になり学会で対面することがないため発信する機会が減り、結果的に情報が入っていないことに気がきました。これまでは実験でうまくいかないことがこういった発信で解決していたのだと感じ、コロナ禍でもできる発信を始めて行こうと思いました。
- 発信することの大切さ、少し継続してみることの大切さについてを再認識しました。経験談やメンタルの推移などの生のお話を聞いたのもよかったです。
- しり込みしがちな発信について、勇気をもらえたから。
- 研究者のSNS利用を促す内容の講演は初めてだったので。
- 考えを書いて発信することの重要性は、業績やキャリアの面からは以前から感じていたものの、論文・総説などのフォーマットばかりが思い浮かび、駆け出しの一学生としては書くことに対する(過剰な)重圧を感じていた。今回、発信することには内的な動機に基づくメリットがあること、様々な形式・方法があることに改めて気づかされ、自身も何らかの形で始めてみることを後押しとなりそう。

4) ワークショップの構成・司会進行・時間帯などに関してご意見をお聞かせ下さい。

- お昼の時間帯を有効活用できて、ランチオンでの開催はありがたいです。
- 和気あいあいとして良かったと思います。演者の本心がよく引き出せていました。
- 昼食を取りつつ視聴できたので良かった。
- 聞きやすかったと思います。
- オンラインでのランチオンセミナーとは異なり、食事をとる環境が限られているため、オンライン学会では昼間のスケジュールに配慮があるとさらに助かったと感じる

5) 男女共同参画に限らず、ご自身のキャリア形成で悩んでいる点があればお聞かせ下さい。

■ライフイベントとの兼ね合い。

■子育てとの両立

■アラサーで大学院生というだけで社会的に軽視される(場合がある)点。

海外の人の話も聞きかじると、日本でだけ特異的な現象に思える。

■運よく博士卒業後にそのまま国立大助教のポストにつけましたが、この先、どのようにキャリアをつんいけるのか不安になることが多いです。子育てをしている同世代の他職種の人をみていると、まだまだ国内では女性本人の負担が大きいと思います。この仕事をしながら、皆さんはどうやって子供を育てていっているのか、いろいろな方のお話を聞いてみたいです。

■アカデミアや企業研究職以外の就職に興味があるが、話を聞ける機会が少ない。

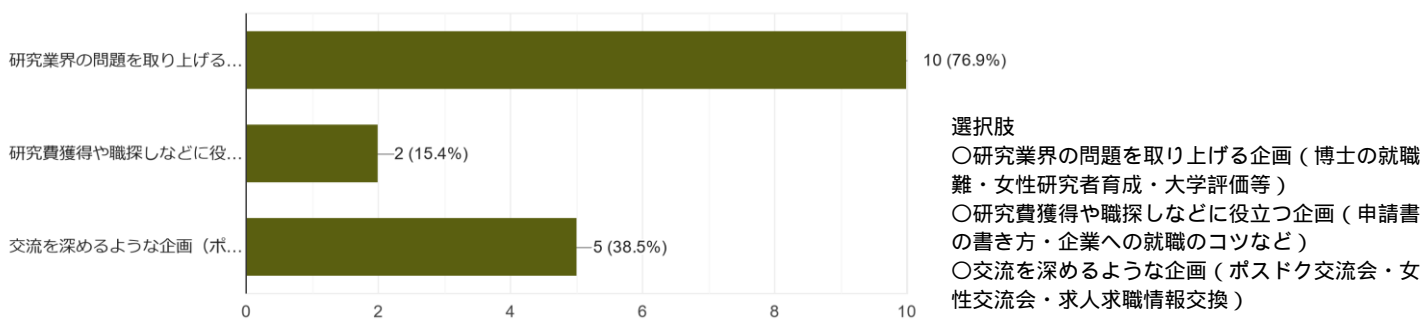
■なかなか独立できない。

■所謂「アカデミア」以外の進路を見出そうとしているものの、研究室という比較的閉じた環境で長時間活動していることもあり、キャリアに対するそういった視野が広がらない悩みを抱えている

6)

男女共同参画推進・若手研究者育成委員会ワークシ...ではどの様なテーマを取り上げて欲しいですか？

13件の回答

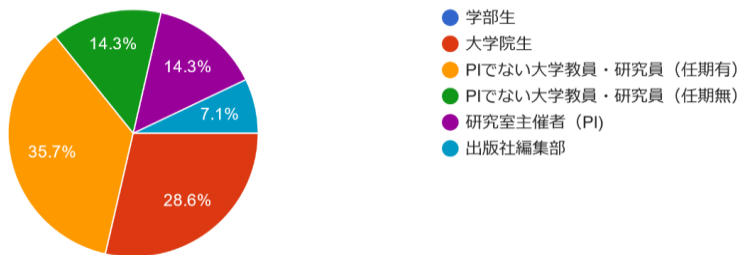


7) 男女共同参画推進・若手研究者育成に関する細胞生物学会としての取り組みとしてワークショップ以外にはどのような事が必要でしょうか。ご意見ありましたらお聞かせ下さい。

■本日の御講演のようなSNSによる発信、提言など

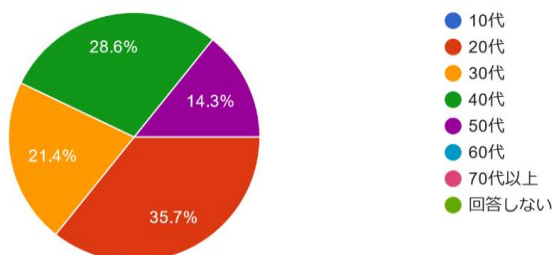
8) 差し支えなければ、属性を教えてください。

14件の回答



9) 差し支えなければ、年齢層を教えてください。

14件の回答



10) 差し支えなければ、性別を教えてください。
13件の回答

